

みなさん、こんにちは。今年もあっという間に暮れていきますが、金融経済、政治軍事情勢はご覧のとおり、大変な混乱状況に突入しつつあります。来年こそは混乱の先に新たな突破口をみんなで開けなければなりません。私が考える未来の大方針を改めて整理しました。どうぞお読みください。

2015年12月5日

藤原直哉 拝

経済アナリスト藤原直哉が考える日本再生の大方針

【政治】

<新しい日本の国家理念・・・偉大なる共生社会の建設>

現在の国や企業の仕組みをそのまま未来に延長することを目標に国家を運営すると、政治や経済は対症療法が基本となり、イノベーションが生まれにくく、矛盾が激化してやがて崩壊の危機に至る。

一方長期にわたる理念や目標の実現に向けて国家を運営すると国や企業の仕組みは状況の変化に対応して柔軟に変えていくことができ、イノベーションの誘発や矛盾をばねにした社会の変革が促進される。結果として国家と世界の平和、人々の安寧と繁栄はより持続的になる。

前者を物質文明国家、後者を精神文明国家と名付けるならば、日本は精神文明国家の道を選択し、健康と持続可能性の高い国家を、偉大なる共生社会の建設という大きな理念を掲げて、柔軟な発想と最先端の知見と大胆な戦略で建設していく。これを新しい日本の国家理念とする。

参考：

藤原直哉著 『ロハスでよみがえる日本再生プログラム—地球環境にやさしい社会への移行こそが日本の強さを生み出す』 2007年5月 万来舎

藤原直哉著 『日本人の財産って何だと思う?』 2015年8月 三五館

藤原直哉著 『経済アナリスト藤原直哉の未来を拓く思考法』 2015年7月 万来舎

藤原直哉著 『ロハス夢工房—21世紀を心豊かに生きる人々』 2008年5月
あ・うん

藤原直哉著 『富貴のころ—みんなで元気に蘇る思想』 1997年11月 三五
館

【経済】

<人の絆を基礎にした共生型経済システムの構築・・・市場経済原理の超克>

20世紀に生まれた西側諸国の福祉国家、東側諸国の社会主義・共産主義国家はそれぞれ内部矛盾の激化で崩壊し、混乱のなかから生まれた新自由主義と新保守主義が世界の政治経済を覆い、世界中が破壊のブラックホールに飲み込まれようとしている。

今や国家の財政に過度に依存した経済でもなく、市場原理のみに依存した経済でもなく、全く新しい発想と行動で経済の運営を行うしか我々には道が残されていない。

その道は政府と国民、買い手と売り手という現在の発想の根本にある二元論を止めることで開かれてくる。

すなわち、政府のメンバーも国民も、国や地域をそれぞれのやる気と能力をもって支えるメンバーの一員であると考えれば、一元的な新たなチームがヨコ型のリーダーシップで生まれてくる。買い手と売り手は市場を介してゲームをするものだと考えるのではなくて、経済は人の絆を基本に、世の中に必要なことをみんなが一緒に問題解決することだと考えれば、一元的な新たな共生型経済システムが生まれてくる。

前者が地域における官民産学市民連携による新しい地域おこしであり、後者が御用達経済の推進であり、また売り手よし・買い手よし・世間よしの三方よしの経営の推進である。

日本の経済再生の基本は、高度に分権化した地域経済の再生と、人々の絆を基礎にした新しい共生型経済システムの構築にある。

参考：

藤原直哉著 『新しい日本を建設する』 2009年1月 ファーストプレス

前川正雄著 『再起日本！』 2013年3月 ダイヤモンド社

阿部重利・榎本恵一・藤原直哉著 『実践 ワーク・ライフ・ハピネス -ワーク・ライフ・バランスを越えて 働き方が変わる 会社が変わる!』 2014年12月 万来舎

藤原直哉著 『共感・勇気・自然—新たな金融を夢見て』 1993年9月 日本図書刊行会

藤原直哉著 『怒りを創造力に！日本再生—共感・勇気・自然』 2011年5月 あ・うん

藤原直哉著 『大逆転のリーダーシップ理論—デジタル大国・アメリカだけが知っている』 2001年2月 三五館

アフサネナハバンディ著・藤原直哉監訳 『実践リーダーシップ学—世界が求めるビジネスリーダーとは』 2004年6月 万来舎

【新たな豊かさの追求】

<大自然の力の再発見と本格的な利用拡大・・・本格的イノベーションの方向性>

こうした新しい政治経済の大方針に基づいた日本再生を支えるためには、新たな本格的イノベーションが必要である。ニュートンの運動の法則や量子物理学を基礎にした自然の理解とそれに基づく科学技術の発展、そして応用のなかで、まだまだ見落とされてきた分野がある。

改めて大自然を観察するならば、宇宙に存在することがわかった大量の暗黒物質・暗黒エネルギーの正体は何か。ナノの単位で見えてくる今までにない物質の性質。

なぜ微生物がもたらす発酵で放射性物質が消えるのか。なぜ土壌発酵を進めると無肥料・無農薬で美味な野菜が大量に収穫できるのか。なぜ進行がんが突然治ることがあるのか。

こういった大自然の力の再発見と本格的な利用拡大は、現在の慢性的な財政赤

字を解消し、我々の生活コストを抜本的に低減させ、人々の生活を物心両面で飛躍的に豊かにさせる本格的な潜在力を持っている。

これを積極的に開発、利用拡大することで本格的なイノベーションが社会全体に行き渡り、健康と持続可能性の高い国家の建設が促進される。

参考：

高嶋康豪・藤原直哉著 『緊急版!微生物が放射能を消した!!—日本復活の革命は福島から』 2012年2月 あ・うん

土橋重隆・藤原直哉著 『突き抜ける生き方—恐慌も病気もマネーが生んだ』 2009年8月 あ・うん

以上の【政治】、【経済】、【新たな豊かさの追求】を大方針として日本再生を行うチームを立ち上げていくことが、本格的な日本再生の第一歩だと考えています。

2015年12月5日

経済アナリスト 藤原直哉 拝